

編集後記

慢性胃炎の定義は別として、その際の胃粘膜の変化を検索した人々の一致した所見は、最終的に生じる固有胃腺の萎縮、更に腸上皮化生の出現である。実際に個々の胃においては、このような方向に進展する変化の存在部位、程度、拡がりおよび質的差異が明らかにされなければならない。今日では、局在性病変である胃癌や胃潰瘍が見出されぬ場合の除外診断としての慢性胃炎は少なくなったが、しばしば“慢性胃炎のときにはしかじかである”という論文で、胃粘膜変化は具体的に記されずに、単に慢性胃炎として一括されている。また、小さな胃生検標本にもかかわらず、癌や潰瘍性病変がないと、慢性胃炎と記載されることがある。更に、胃粘膜全体の形態学的変化を観察するときに、antralizationとか通常および逆萎縮型のごとき表現に示されるように、比較的検索されやすい幽門前庭部、胃角周辺部や幽門腺領域の病変を主体と考える志向は、特にわが国では行きわたっている。この志向は、中間帯や腸上皮化生の成り立ちや進展についての考え方の中にも存在する。

近来、胃粘膜の中の内分泌細胞を超微形態的、蛍光および酵素抗体的に識別する方法が発達してきた。その内容と共に、病理組織学的変化との対比、更には関連が問題となる。本号は、慢性胃炎についての総括ではない。慢性胃炎の定義から始まり、機能的、形態的变化の問題点を明らかにするための第一歩であり、各論文には、著者のはっきりした主張が示されている。したがって各著者の立場や考え方は、必ずしも同一ではない。読者諸賢はこれらの点に御留意のうえ、御精読していただきたい。

<望月 孝規>

<編集> 早期胃癌研究会

胃と腸

発売予定 7月2日
定価 1,700円

7月号(第20巻・第7号)予告

主題/小腸診断学の進歩

主 題	世界における小腸検査法の現状……………	癌研・内科	丸 山 雅 一
	小腸X線検査法の実際と診断の考え方……………	順大・消内	小林 茂雄・他
	小腸X線検査法の微細診断能……………	鹿児島大・2内	西俣 嘉人・他
	小腸の内視鏡的診断法—諸方法とその適応—……………	京都第一赤・2内	多 田 正 大
	小腸の内視鏡的診断法—プッシュ式の挿入法と診断能……………	九大・2内	飯田 三雄・他
主題研究	回腸終末部を除く回腸、空腸のバリエーションの研究……………	国立がんセンター・放診	牛尾 恭輔・他
	蛋白漏出性腸症の小腸内視鏡像……………	富山医科薬科大・3内	田中三千雄・他
	酵素抗体法による小腸癌の細胞分化の特性……………	新潟大・第1病理	岩渕 三哉・他
	Crohn 病の空腸生検標本の電顕像……………	福岡大・1内	山本 勉・他
	小腸の内視鏡観察およびX線造影同時併用法……………	国立熊本病院・外	川村 亮機・他
	呼気中水素測定法および輸送電位測定法による		
	小腸糖消化吸収能の検討……………	山形大・2内	石川 誠・他
今月の症例	10 mm 大の空腸平滑筋腫……………	国立がんセンター・放診	牛尾 恭輔・他
Refresher Course……………	仙台市医療センター		望 月 福 治
消化器診断入門—下部消化管……………	北里大・内科		岡部 治弥・他

(編集頁の都合で掲載論文が若干変更になることがあります。)

(担当) 尾島・長谷川・窪田・大竹